



## 思いに寄り添った支援～食べる取り組み～

飲み込みの障害により、管を使って胃に栄養や水分を直接注入する方法(経鼻経管栄養)で栄養管理をしている方がいます。今回は、当事業所を利用されている方の体調管理をしながら、「食べる」に向けた取り組みをご紹介します。

### <利用者紹介>

80代男性 要介護5  
診断名：脳梗塞後遺症



『誤嚥性肺炎』を繰り返し、口から食事をとることが難しくなった  
→ 管を使って胃に栄養を直接注入する経鼻経管栄養が開始となった



ご家族

夫は食べたい気持ちがあるようだけど…  
少しでも食べることができないかしら？

飲みこみの練習目的に  
言語聴覚士の介入開始



言語聴覚士

飲み込みのための準備運動  
(呼吸練習や  
頸部・口の運動など)

主治医から食べ物を使用した  
飲みこみ練習の許可をもらう  
トロミ付き冷水を  
ごく少量から摂取練習開始



つばを飲みこめる  
ことが増える

元々好きなアイスクリームの  
摂取練習を開始

トロミ付き冷水での飲み込み  
練習回数増加

急性胆管炎  
尿路感染症にて  
入院

退院後 リハビリ再開  
飲みこみの機能は低下が  
あり、呼吸練習から再開  
トロミ付き冷水の  
少量の飲み込み練習



またアイスクリームを  
食べることを目標に練習中！！

### <練習開始から現在まで>

ご家族には、日々の吸引や口腔ケアなど  
こまめに行っていただいています！  
看護師と共有し、家族を支援しながら関わりを  
継続しています。



ご家族



看護師

ご家族や他職種との連携により、一度「食べる」ことができなくなった方にも  
ゆっくり関わることで、ご本人の食べたい気持ちに少しでも近づきました。  
長いかわりの中で、少しでも思いに応えられるよう引き続き支援していきます。